

# アカデミック・リンクは進化する 「新しい学習環境の創造と課題」

千葉大学アカデミック・リンク・センター

2012年11月21日

第14回図書館総合展

# イントロダクション アカデミック・リンクの取り組みと直 面する諸問題

竹内 比呂也

千葉大学附属図書館長,  
アカデミック・リンク・センター長

2012.11.21

# アカデミック・リンクによる千葉大学の教育改革

目的:「考える学生の創造」

「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ学生の育成

## アカデミック・リンク

「学習とコンテンツの近接」による能動的学習の実現

コンテンツ構築・提供、情報基盤、人的支援、学生のニーズに適した学習空間の統合・連携による学習・教育の革新

アクティブ・ラーニング・スペース

コンテンツ・ラボ

ティーチング・ハブ

千葉大学中期目標・計画<教育方法改善への取組、アクティブ・ラーニングの重視>

## 大学に対する社会的要請

- 知識基盤社会、学習社会における市民の育成
- 高等教育のグローバル化の中での質の維持・向上
- 職業人としての基礎能力、創造的人材の育成

「学士課程教育の構築に向けて」(平成20年12月24日、中教審答申)

## 学生のニーズ

- 自由に使える学習スペース
- 文章作成力、ディスカッション能力、問題解決能力
- 英語によるコミュニケーション能力

「千葉大学の教育・研究に対する意識・満足度調査報告書」(平成21年度)

授業

「授業資料ナビ」

「1210あかりん  
アワー」

CONTENT

動画教材、授業映像

伝統的  
図書館  
蔵書

電子  
ジャー  
ナル・e-  
books

誰でも  
使える  
Web上  
の資源

PLACE

教材・  
教科書  
の電子  
化

レファ  
レンス  
デスク  
@AL

オフィ  
スア  
ワー@  
AL

ALSA-  
LS

CURAT  
OR(機  
関リポジ  
トリ)

SUPPORT

ブックツリー  
(見せる書棚)

「見る」  
「見られる」空間  
での活動

## 学生から見たアカデミック・リンク

「学び」に導く刺激にあふれた場所, 学びの基盤としてのコンテンツ, 人的サポート

## 千葉大学附属図書館、アカデミック・リンク・センターの建物構成

書庫・静寂な閲覧席

# 書庫的空間

研究開発, コン  
テンツ・ラボ,  
ティーチング・  
ハブ

学生  
支援  
セン  
ター  
(厚生  
施設)

図書館新館  
(愛称:L棟)

図書館旧館  
(愛称:K棟)

東棟（増築）  
（愛称Ⅰ棟）

書店

平成24年11月  
オープン予定

南棟(増築)  
(愛称:N棟)

# アクティブ・ラーニング・スペース

かたらいの森

[illegible]

# 空間設計の基本的な考え方

- 開放性, 透明性の高い空間（「見る」, 「見られる」環境）
- 学習成果を公表する場を持つ
- 機能分化（静寂空間／討議空間）
- 利用における自由度が高い（N棟: 机, 椅子, ホワイトボードを自由に動かしてよい）

# コンテンツの提供の基本的な考え方

- 学生が利用したいときに、**電子媒体でも印刷媒体でも**迅速に入手できるようにする。図書館蔵書にこだわらず、購入も一つの選択肢として考える。**教材の作成支援**も視野に入れる。
- コンテンツとして以下のようなものを想定
  - 1) 公刊された出版物に代表される著作物
  - 2) 著作物の一部(あるいは全部)を再パッケージ化した教材(コースパック)
  - 3) 授業録画(授業中に提示される著作物がその中に含まれる)
  - 4) 著作物の一部を利用して、教員が独自に作成した教材
  - 5) 完全にオリジナル作成された教材

# 人的サポートの基本的な考え方

- 学生，図書館員，教員によるハイブリッドな人的サポート
  - 学生，図書館員，教員がどのような役割を担うべきか，試行錯誤的に追求
    - 「学習支援デスク」
    - 「レファレンス・デスク」
    - 「オフィスアワー@アカデミック・リンク」



# 今日の報告では...

- 「学習コンテンツの作成」
  - 授業動画作成
  - オリジナル教材作成
- 「人的サポート」
  - 大学院生による学修支援
- 「空間を生かす」
  - 「1210あかりんアワー」

についてご紹介します。